

回答

東京大学教員有志の皆様

2020年9月16日付けの皆様からの質問状を拝受いたしました。貴重なご指摘であり、より一層透明性のある選考とすることのご提言をいただいたことに深く感謝申し上げます。

ご質問いただいた事項については、番号に沿って以下の通り回答いたします。

1. 総長選考会議では、このたびの第2次総長候補者の選考にあたり、学問分野、部局、年齢、性別、学内の方か学外の方か、といった候補者の属性を特別に意識することはせず、求められる総長像に照らして最良の候補者を選出するという方針で臨み、慎重かつ丁寧な検討を行ってまいりました。その結果が今回の候補者の方々となった次第です。候補者を3名にすることに関しても、総長選考会議で十分に討議した上で合意したものです。

2. 第1次総長候補者については、立候補制は採らず代議員会及び経営協議会からの推薦により選出されたものであり、第2次総長候補者に選出されなかった方々への配慮から、過去の選考においてもその人数・氏名は公表しておりません。今回の第1次総長候補者の方々にも、氏名は公表しないことをお知らせした上で書面の作成と面接審査へのご協力をお願い致しました。こうした経緯を踏まえ、第1次候補者の方々の氏名は公表しない扱いとしております。

3. 意向投票の投票有資格者は学内の教員のみですので、学外の意見等を取り入れる環境に対応することはないと判断し、現時点での学外への公表を控えた次第です。なお、今回の総長選考の選考理由と選考過程は、10月2日に公表することとしており、第2次総長候補者の氏名はその時点で公表する予定です。

4. 今回の選考プロセスは、総長選考会議において、昨年度までに学内（各部局長等）の意見も確認しながら時間をかけて審議・決定し、4月28日に学内外にお示ししているところです。このたびいただいたご意見については、より良き総長選考の在り方への提言と受け止め、今後の検討に生かして参ります。

回答は以上となります。

総長選考への引き続きのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年9月23日

東京大学総長選考会議

議長 小宮山 宏